

凄い日雇業の喧嘩

田村郡七鄉村生れ當時湯本町字三國山口才次郎方居住日雇業柳沼秀吉(二四)同長野縣高井郡中野町生れ小林末吉(四一)の兩名は二十二日午後十時半頃飲酒の上口論を始め柳沼は小林を溝の中に突き落して頭部に二寸余の裂傷を負はせたくめ憤慨した小林は手斧を持ち出して隣家に逃げて行つた小林を追ひ左足を深き三寸程斬りつけたので兩名共平署に捕はれた。

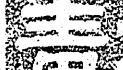
綴支部發會

石城郡民政黨の別動隊である内郷民政同志會では磐城炭礦緩坑従業員二百余名の入黨者があつたので總支部を設ける事となり、二十二日午後一時から發會式を兼ね湯本町湯本座に於て演說會を開いたが比佐代議士、野崎、若松兩縣會議員等出席し盛會を極めた。

重役増員

石城郡植田町警東銀行では縣下過般來の財界動搖に際しても殆んど何等の影響なく當時行はれたる預金の引出しも僅に一萬圓内外に過ぎず寧ろ豊富なる拂出し準備金の運用に關して考慮を拂ひつゝある程の状態であるが地方財界動搖直後の株主總會は二十一日午前十時から同行樓上において開催、定款變更の結果

取締役現在江尻博孝、金成通
金成金三諸氏の外新任兒玉萬
平、山野達文雄、馬上誠一、
金成欣次諸氏を
監査役現任岡山保治郎、古川
傳一兩氏の外新任村松義節、
久保木榮作、藤田淺之助諸氏
を何れも増員し尙從來永く取締
役として功勞少からざりし安島
重三郎氏は専心目下休業中なる
磐城銀行の整理廻生に努力する
ため同行取締役を退く事となり



專門

皮膚病
電話 七〇一

膿

淋病
人病

腸十二指
虫病

村病院

(昭和叁年上半期)

資產之部

| | |
|--------------|--------------|
| 未拂込資本金 | 三、七〇〇、〇〇〇・〇〇 |
| 線路屋內工作物 | 五二、八六八・八六 |
| 機械器具貯藏品及土地建物 | 五五、三八四・〇〇 |
| 什器 | 一五、九〇〇・〇〇 |
| 有價證券 | 六五、一九〇・七 |
| 假拂金 | 五九、〇九九・六 |
| 受取手形及未收入金 | 一、六二二、四七二・六 |
| 發電所勘定 | 二四、三八六・八六 |
| 變電所勘定 | 三六、〇三三・五五 |
| 預付金及現金 | 六、四〇〇、八六二・二六 |
| 合計 | 六、四〇〇、八六二・二六 |

七月九日より開始致しました
どうぞ、御散歩がてら是非に

| 定 價 表 | |
|-------------|-----|
| コ ー ヒ ー | 1 0 |
| 紅 茶 | 1 0 |
| ミ ル ク | 1 0 |
| コ コ ア | 2 0 |
| ソ ー ダ 水 | 1 5 |
| アイスクリーム | 1 5 |
| 御 菓 子 一皿 | 1 0 |
| サ ン ド イ ツ チ | 3 0 |
| トーストパン | 1 0 |

平町三丁目(平銀銀行)
永野キヤード第二支店
喫茶部

牛肉大賣出

來る七月廿四日の日

上上上上上
 ば申申申申
 肉肉肉肉肉
 同同同同同
 四六八壹
 拾拾拾拾
 錢錢錢錢錢
 石川のなべ肉御紹介の意味で本年は特に最上ものを右の
 大賣出仕り候間此機を逸せず陸續御注文の程御願申上候
 牛鳥肉
 御料理
 石川亭

外科新設

外科專門部長 藤本順
診療開始

婦産科
人科
院長 木村寅次郎

從前通り診療
平町新川町
木村醫
院
電話一六四番

耳鼻咽喉科問事

新築
移轉
場所
合
津
醫
院

平町仲田町七一

最新滋強
回春劑
ビータス
定價
拾圓 三圓
廿圓 五圓

◎適應症 腦神經衰弱、ヒステリ、生殖不能
陰萎遺精、體力増進、新陳代謝等

平町專賣所 五丁目角 山野邊藥局

四二
目十
ウシ
の
日
賣
出
し

江戸前腕自慢

かばやし
以上

うなじん 八十錢以上

南町平館隣り
電話四二四番
魚
榮

美味で安値……出前は迅速配達

海四
岸倉
初
音

一、例年の通り四倉海水浴場に出張所設けましたから是非一度御立寄り下さい。

一、團體の際は、大勉強御相談に應じます。

一、無料脱衣場の設備もあります。

平
初町
薪
田
町
音

電話

電話二六六番